

## 私の故郷 その1 「東京都世田谷区弦巻」 (神奈川) 小関隆夫

現在私は横浜に住んでいますが、私が想う故郷は現在の地ではなく、幼少期に住んでいた世田谷弦巻と当時夏休みに何度も訪れたことのある母の実家、福島県国見町の二か所です。

今回はその中で「第一の故郷」と思う東京世田谷弦巻について紹介したいと思います。

### 【第一の故郷】

私が第一の故郷と思うのは、生まれてから中学2年生まで過ごした、東京都世田谷区弦巻町です。弦巻町は世田谷区の中でも交通の便が悪く、最寄の玉電の停留所（桜新町、用賀、上町）まで歩いて30分位かかる所でした。周囲は次第に宅地化されてましたが、畑地も広く点在してました。

家から20分位歩いた所には馬事公苑があり、私の遊び領域の一つでした。馬糞を避けながら外周コースを横切って、中央の広場にある池でザリガニ採りをした思い出がありません。

5年位前に弦巻町を訪れ、小学校時代の通学路とその周囲を歩いてみました。

昔は地方の風景と変わらぬ景色の町でしたが、工場や大学が大規模マンションになり、畑が住宅団地になったりして、街並みの様子は全く変わっていました。

しかし、地形と道路位置関係は昔のまま、当時の風景を思い出しつつ子供時代の空間・距離感覚との大きな違いを感じながら歩いてました。

最も注目したのは、自宅前にあったお地蔵さんで、立派な屋根と周囲にガードレールを付けてもらって、同じ場所に優しく鎮座してました。感激でした。(写真右)



弦巻町のほぼ唯一の交通機関であった玉電も、その後世田谷線が分離され、本線は地下鉄化されて、昔の路面電車の面影はなくなっていました。

弦巻町の交通の便はバス路線の停留所ができた以外は変わってないようです。

近いうちに【第二の故郷】についても紹介したいと思います。

以上